

1. 維持管理・更新に関する基本的な考え方を整理する

（1）社会資本の維持管理・更新にあたっての大前提

国民生活、社会・経済活動や安全・安心を支えている社会資本は国民にとって不可欠の財産であり、次世代に確実にこれを継承していくため、管理主体の違いに関わらず、社会的要請に応えながら適確に社会資本の維持管理・更新を進める。

（2）維持管理・更新のあり方

○ 機能・費用のバランスの取れた維持管理・更新

⇒ 長寿命化を目指すものと、短い耐用年数で更新することを前提とした方がコスト削減が図れるものをどのように考えるか

○ 防災・耐震・環境などに対応した施設維持・更新

⇒ 維持管理・更新に合わせた耐震等の機能追加、環境負荷への対応などの付加価値の高め方をどう評価するか

○ 社会構造の変化に対応した維持管理・更新

⇒ 限界集落など社会環境の変化にどのように対応するか
⇒ 優先順位のルール作りをどのように考えるか
⇒ 目指すべきサービス水準や費用負担をどのように考えるか

（3）国の責務と連携

○ 国の責務

⇒ 地方管理分も含めた社会資本の維持管理・更新において、国がどのような役割を担うべきか
⇒ 社会資本の管理主体の違いや維持管理の実態を踏まえ、地方分も含めた実態の把握や維持管理の重要性に関する国民への情報発信はどのように考えるか

○ 分野横断的な連携による維持管理・更新

2. 維持管理・更新の現状を明らかにし、重要な課題の整理と解決の方向性を整理する

（1）現状と課題の整理

○ 分野横断的連携による維持管理・更新の現状把握

⇒ 文部科学省、厚生労働省等との連携

○ 地方自治体の維持管理の現状把握

⇒ アンケートの実施

（2）解決の方向性

○ 技術面

⇒ 技術基準の整備をどのように推進すべきか
⇒ 技術開発をどのように推進すべきか

○ マネジメント面（資金を含む）

⇒ マネジメントサイクルの実行（制度化）はどのように推進すべきか
⇒ 維持管理・更新のための適切な資金の確保にどのように対応すべきか

○ 人材面

⇒ 人材確保、人材育成にどのように対応するか

3. 維持管理・更新にかかる具体的な取り組みを検討する

○ 将来の維持管理・更新費に関する、現在の知見の範囲での見通しの提示

○ 適確な維持管理・更新に向けた施策

⇒
⇒
⇒
⇒
⇒

・
・
・